設定マニュアル 貸出デバイス用(有線・無線) Windows 8.1 版

目次

1.	注意事項	1
2.	Windows のエディションを確認する	2
3.	ネットワークに接続する	3
4.	コンピュータ名を変更し"KWANSEI" ドメインに参加する	3
5.	グループポリシーを変更する	7
5-1	定期的なパスワードの変更を無効にする	7
5-2	2.サインイン画面に最後にサインインしたユーザーを表示しない	8
6.	"KWANSEI" ドメインのユーザーを PC のローカル管理者グループに追加する	9
7.	ネットワーク設定を変更する(無線 LAN 編)	.12
8.	ネットワーク設定を変更する(有線 LAN 編)	.18
9.	ローカル管理者ユーザーにパスワードを設定する	.22

更新:2022年01月

1. 注意事項

○ Windows が、ドメインに参加可能なエディションであること

○「貸出デバイス用」の学院ネットワーク接続申請を行い、承認通知のメールを受信していること

○ 承認通知のメールに記載されている「ドメイン参加作業者のシステム利用 ID」の所有者が 作業中に立ち会えていること

※「ドメイン参加作業者」以外によるドメイン参加設定作業はできません

○ ウイルス対策ソフトがインストールされていること

購入の予定が無い場合は、学内配布のウイルス対策ソフトをインストールしてください。

設定する上で不明な点があれば、下記窓口までお問い合わせください。

<西宮上ケ原キャンパス>

≻	第4別館	1 階	第 1PC サポート室	(内線:61-31331)
\triangleright	メディア・研究棟	1 階	第 2PC サポート室	(内線:61-31333)
	大学院棟	1 階	第 3PC サポート室	(内線 : 61-31334)
<7	申戸三田キャンパス>			
\succ	VI号館	2 階	PC 相談カウンター	(内線:62-2104)
	VI号館	3 階	PC 利用相談カウンター	(内線:62-2105)
<7	西宮聖和キャンパス>			
۶	6 号館	4 階	情報メディア室/PC サポート室	(内線:66-2900)
<7	大阪梅田キャンパス>			
≻	アプローズタワー	14 階	事務室	(内線 : 63-25)

2. Windows のエディションを確認する

PC のローカル管理者ユーザーでサインインします。
 ※パスワード未設定の場合は、セキュリティ上の観点から

「9. ローカル管理者ユーザーにパスワードを設定する」を参考にパスワードを設定してください。

2. スタートメニューを右クリックし、[システム]をクリックします。



3. [Windows のエディション]の項目を確認します。



※上図の場合、「OS」は"Windows 8.1"、「エディション」は "Enterprise"となります。

以下、利用可能なエディションの一覧となります。

- ·Windows 8.1 Pro / Enterprise
- ·Windows 10 Pro / Enterprise / Education

3. ネットワークに接続する

ローカル管理者ユーザーでネットワーク接続するための設定を行います。
 下記 URL を参考に学内無線 LAN、もしくは 学内有線 LAN の接続設定を行い、
 ネットワークに接続できることを確認します。
 持込デバイス用(無線) KGU-WLAN 設定方法 | 関西学院 情報化推進機構

https://ict.kwansei.ac.jp/guide/campus network/1906307/ 持込デバイス (有線) 設定方法 | 関西学院 情報化推進機構 https://ict.kwansei.ac.jp/guide/campus network/1906309/

- 4. コンピュータ名を変更し"KWANSEI"ドメインに参加する
- 1. ローカル管理者ユーザーでサインインしたうえで、スタートメニューを右クリックし[システム]をクリックします。



2. [設定の変更]をクリックします。



3. [コンピューター名] タブが選択されていることを確認し、[変更] をクリックします。



4. [コンピューター名] に、承認通知のメールに記載されている「ドメイン参加用コンピュータ名」を入力し、 [OK] をクリックします。続けて、再起動の確認画面も[OK] をクリックしてください。



5. [閉じる] をクリックすると再起動を促す画面が表示されるので、[今すぐ再起動する] をクリックします。

システムのプロパティ ×		
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート		
次の情報は、このコンピューターをネットワーク上で識別するために使われます。		Microsoft Windows
コンピューターの説明(<u>D</u>):		
例: "キッチンのコンビューター"、"仕事用コンビューター" フル コンビューター名: carry00000 ワークヴループ: WORKGROUP		これらの変更を適用するにはコンピューターを再起動 する必要があります。
ドメインまたはワークグループに参加するためのウィザードを使用 するには [ネットワーク ID] をクリックしてください。	\rightarrow	再起動する前に、開かれているファイルをすべて保存して、プログラムを すべて閉じる必要があります。
コンピューター名を変更したりドメインに参加したりするには [空 変更(C) 更] をクリックしてください。		今すぐ再起動する(<u>R)</u> 後で再起動する(<u>L</u>)
閉じる キャンセル 適用(A)		

- 6. 再起動後、再度ローカル管理者ユーザーでサインインし、上記手順の「1.」と「2.」を行います。
- 7. [コンピューター名] タブをクリックし、[変更] をクリックします。

システムのプロパティ				
コンピューター名 ハードウェア	詳細設定 システムの保護 リモート			
次の情報は、この	次の情報は、このコンピューターをネットワーク上で識別するために使われます。			
コンピューターの説明(<u>D</u>):				
	例: "キッチンのコンピューター"、"仕事用コンピューター"			
フル コンピューター名:	carry00000			
ワークグループ:	WORKGROUP			
ドメインまたはワークグループに参加するためのウイザードを使用 するには [ネットワーク ID] をクリックしてください。				
コンピューター名を変更したり 更] をクリックしてください。	ドメインに参加したりするには [変変更(<u>C</u>)			
OK キャンセル 適用(A)				

 [コンピューター名] が、承認通知のメールに記載されている「ドメイン参加用コンピュータ名」と同じものになっていることを 確認後、[ドメイン] にチェックを入れ、[KWANSEI](大文字小文字どちらでも可)と入力し、[OK] をクリックします。 ※エラーになる場合は、[nuc.kwansei.ac.jp] と入力してください。

コンピューター名/ドメイン名の変更 ×
このコンビューターの名前とメンバーシップを変更できます。変更により、ネット ワーク リソースへのアクセスに影響する場合があります。
コンピューター名(<u>C</u>):
carry00000
フルコンビューター名:
carryouddu
詳細(<u>M</u>) …
所属するグループ
● F×イン(<u>D</u>):
kwansei
○ ワークグループ(<u>₩</u>):
WORKGROUP
OK キャンセル

9. [ユーザー名]欄と[パスワード]欄に、承認通知のメールに記載されている「ドメイン参加作業者 ID」と 「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

※エラーになる場合は、[ユーザー名]欄に [KWANSEI¥システム利用 ID] の形式で入力してください。 ドメイン参加が完了すると「kwansei ドメインへようこそ」の画面が表示されるので、[OK]で閉じます。



10. [閉じる]をクリックし、続けて[今すぐ再起動する]をクリックし、PCを再起動します。



5. グループポリシーを変更する

再起動後、ローカル管理者ユーザーでサインインし、[Windows キー]と[R キー]を同時に押下して [ファイル名を指定して実行]を起動します。

「名前」欄に[gpedit.msc]と入力し、[OK]をクリックすると、ローカルグループポリシーエディターが表示されます。



5-1.定期的なパスワードの変更を無効にする

※この設定を行わない場合、長期間 PC を使用していと、全てのドメインユーザーがサインインできなくなり、 「4.コンピューター名を変更し"KWANSEI"ドメインに参加する」からの再設定が必要になります。

1. [コンピューターの構成] – [Windows の設定] – [セキュリティの設定] – [ローカルポリシー] – [セキュリティオプション]の [ドメイン メンバー: コンピューター アカウント パスワード: 定期的な変更を無効にする]を選択した状態で、 ダブルクリックします。



2. [有効]を選択し、[OK]をクリックします。



5-2.サインイン画面に最後にサインインしたユーザーを表示しない

※この設定を行わない場合、サインイン画面に最後にログオンしたユーザー名が表示されます。

[コンピューターの構成] - [Windows の設定] - [セキュリティの設定] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション]の
 [対話型サインイン:最後のユーザー名を表示しない]を選択した状態で、ダブルクリックします。
 先の画面と同様に、[有効]を選択し[OK]をクリックします。



- 6. "KWANSEI" ドメインのユーザーを PC のローカル管理者グループに追加する
 - "KWANSEI"ドメインのユーザーをローカル管理者グループ(Administrators)に追加することで Windows Update 等、管理者権限を要する作業を実行することができます。
 - "KWANSEI"ドメインのユーザーを複数登録することも可能です。
 - ●ローカル管理者ユーザーで Windows Update 等を実行する場合は、「3.ネットワークに接続する」で示された 設定を行い作業してください。作業が終了した後、「7.」もしくは「8.」の「ネットワーク設定を変更する」に進んでくだ さい。
 - ※「ネットワーク設定を変更する」を実施すると、ローカル管理者ユーザーではインターネットにアクセスできなくな るため、必ず、「3.ネットワークに接続する」で示された設定が行われていることを確認してください。
 - ●セキュリティ対策の一環として、定期的に Windows Update を実行してください。
 - ●「ローカル管理者権限」は対象端末の最高権限になるため、権限を与える際はその点にご留意ください。
- [ユーザー名] 欄に [.¥PC のローカル管理者ユーザー]を、[パスワード]欄に
 [PC のローカル管理者ユーザーのパスワード] を入力し、右横の矢印をクリックします。
 ※「.¥」の箇所は「コンピューター名¥」でも可能です。「コンピューター名」は承認通知のメールに記載されています。



2. スタートメニューを右クリックし、、[コンピューターの管理]をクリックします。



3. [システム ツール]ー[ローカル ユーザーとグループ]ー[グループ] の順にクリックし、右側の[Administrators] を ダブルクリックします。

£	コンピューター	の管理 - ロ	×
ファイル(<u>F)</u> 操作(<u>A</u>) 表示(⊻) ^	Jレプ(<u>日</u>)		
🗢 🄿 🖄 📰 🔀 🛛 😰			
🜆 コンピューターの管理 (ローカル)	名前	説明	^
▲ 👫 システム ツール	Access Contr	このグループのメンバーは、このコンピューター上のリ	-
	Administrators	コンピューター/ドメインに完全なアクセス権があります。	
	🕾 Backup Oper	Backup Operators は、バックアップの作成また	
▲ 20 ローカル ユーザーとグループ	A Cryptographi	メンバーは、暗号化操作の実行を許可されています。	
□ ユーザー	Bistributed C	メンバーは、このコンビューターで分散 COM オブジ	
🦳 グループ	Bevent Log R	このクループのメンバーは、ローカル コンビューターか	
▷ (N) パフォーマンス	Subsets	既走では Users グループのメンバーと同しアクセス	
→ デバイス マネージャー	Marc Tuepe	このクループのメンバーには、Hyper-V のタイ(の	
	Metwork Con	インターホット インフォスーション リーヒ人 に使用する このグループのメンバーけネットワーク挫折の構成を	
ご デ1人クの目柱 ト □ サービスとアプルケーミョン	A Performance	このグループのメンバーは、このコンピューターから、ロ	
	5 Dorformanco		4

4. [追加]をクリックします。

Adminis	tratorsのプロパティ ? ×			
全般				
Administrators				
説明(<u>E</u>): コンピューター/ド	「メインに完全なアクセス権があります。			
所属するメンバー(<u>M</u>):				
Administrator				
追加(<u>D</u>) 削除(<u>R</u>)	ユーザーのグループ メンバーシップに対する変更 は、そのユーザーが次にログオンするまでは有効 になりません。			
OK -	キャンセル 適用(A) ヘルプ			

5. [選択するオブジェクト名を入力してください] 欄に、PC のローカル管理者グループに登録したい"KWANSEI" ドメインのユーザーの [システム利用 ID] を入力し、[名前の確認] をクリックします。

[選択するオブジェクト名を入力してください]欄に[システム利用 ID@nuc.kwansei.ac.jp]と表示され、

下線が引かれていることを確認し、[OK] をクリックします。

ユーザー、コンピューター、サービス アカウント または グル	ープの選択 ×
オブジェクトの種類の選択(S):	
ユーザー、サービス アカウント または グループ	オブジェクトの種類(<u>O</u>)
場所の指定(<u>F</u>):	
nuc.kwansei.ac.jp	場所(<u>L</u>)
᠍ 選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
xxx00000	名前の確認(<u>C</u>)
詳細設定(<u>A</u>) 0	く キャンセル

※下線が表示されない場合、[システム利用 ID]に入力ミスがあるか、ドメインのユーザーでない可能性があります。

6. [ユーザー名]欄と[パスワード]欄に、承認通知のメールに記載されている「ドメイン参加作業者 ID」と 「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ ×
ネットワーク資格情報の入力 nuc.kwansei.ac.jp のアクセス許可があるアカウントの資格情報を入力してくださ い。
例: user、user@example.microsoft.com または domain¥username
ユーザー名 パスワード ドメイン: KWANSEI
OK キャンセル

7. [所属するメンバー] 欄に、先ほど追加したユーザーが表示されていれば登録完了となります。
 ※他のユーザーも追加する場合は、続けて[追加]をクリックし、先の手順に従って追加で登録をします。

登録完了後、[適用]-[OK]の順にクリックし、画面を	閉じます。
-----------------------------	-------

Administratorsのプロパティ	?	×
全般		
Administrators		
説明(E): コンピューター/ドメインに完全なアクセス権があります	•	
所属するメンバー(⊻):		
Administrator KWANSEI¥Domain Admins KWANSEI¥ xxx000000 (xxx00000@nuc.kwansei.ac.jp)]	
ユーザーのグループ メンバーシッフ 追加(D) 削除(R) になりません。	作に対する3 るまでは有	変更 剪効
OK キャンセル 適用(A)		プ

8. 設定を反映させるために、PCを再起動します。

7. ネットワーク設定を変更する(無線 LAN 編)

<u>"KWANSEI"ドメインユーザー</u>で無線でネットワーク接続できるよう、ローカル管理者でネットワーク接続設定を 行います。以下の手順を実施すると、ローカル管理者ユーザーではネットワークに接続できなくなります。

1. [ユーザー名] 欄に [.¥PC のローカル管理者ユーザー]を、[パスワード] 欄に [PC のローカル管理者ユーザーのパスワード] を入力し、右横の矢印をクリックします。



[Windows キー]と[R キー]を同時に押下すると[ファイル名を指定して実行]が表示されます。
 「名前」欄に[cmd]と入力し[OK]をクリックすると、コマンドプロンプトが表示されます。

ファイル名を指定して実行	×
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	7—
名前(<u>O</u>): cmd	~
OK キャンセル 参照(B)	•

 コマンドプロンプトにて、「netsh wlan delete profile name="KGU-WLAN"」と入力し [Enter]キーを押下します。「"KGU-WLAN"は削除されました」のメッセージが表示されれば、画面を閉じます。



4. PC 再起動後、再度ローカル管理者ユーザーでサインインします。

5. 画面の右上下隅どちらかにマウスカーソルを移動し、[チャーム]を表示させたのち[設定]をクリックします。



6. [コントロール パネル]をクリックします。

設定 デスクトップ
コントロール パネル
パーソナル設定
PC 情報
へしプ

[コントロール パネル]の画面右上にある[表示方法]が[カテゴリ]となっていることを確認します。
 [大きいアイコン]や[小さいアイコン]となっている場合は[カテゴリ]に変更します。
 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



8. [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。



9. [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

	- 🗆 🗙
중 璽 接続またはネットワークのセットアップ	
接続オプションを選択します	
インターネットに接続します ブロードバンドまたはダイヤルアップによるインターネットへの接続を設定します。	^
新しいネットフークのセットアップ 新しいルーターまたはアクセス ポイントをセットアップします。	
1777年の中国の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	
職場に接続します 職場へのタイヤルアップまたは VPN 接続をセットアップします。	~
次へ(凶)	キャンセル

10. [ネットワーク名]に[KGU-WLAN]を入力し、[セキュリティの種類]は[WPA2-エンタープライズ]を選択します。 [この接続を自動的に開始します]と[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]に チェックを入れます。入力が完了しましたら[次へ]ボタンをクリックします。

追加するワイヤレス ネッ	トワークの情報を入力します	
ネットワーク名(E):	KGU-WLAN	
セキュリティの種類(S):	WPA2-エンタープライズ	v
暗号化の種類(R):	AES	~
セキュリティ キー(C):		文字を非表示にする(H)
■この接続を自動的に開 ●ネットワークがブロードキ・ 警告: 選択すると、このコンピュ	とします(T) Pストを行っていない場合でも接続する ーターのプライバシーが危険にさらされ	5(O) る可能性があります。

11. [正常に KGU-WLAN を追加しました]と表示されましたら、[接続の設定を変更します]をクリックします。



- 12. [セキュリティ] タブを選択し、 [ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する]のチェックを外します。
 - 次に、[設定] をクリックし、[証明書を検証してサーバーの ID を検証する]のチェックを外した後、[構成]をクリックします。

KGU-WLAN ワイヤレス ネットワークのプロパティ	保護された EAP のプロパティ
接続 セキュリティ	接続のための認証方法: □ 取書を検証してサーバーの ID を検証する(⊻)
セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ v 時号(Fの得類(N)): AES v	□ 次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(<u>Q</u>):
ネットワークの認証方法の違択(<u>Q</u>): Microsoft: 保護された EAP (PEAP) ✓ 設定(<u>S</u>) □ <u>1</u> グオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>)	信頼されたルート正明機關(g): AddTrust External CA Root Baltimore CyberTrust Root Carry00000 Carry00000.nuc.kwansei.ac.jp Carry00744 Carry00744. Carry0074. Carry0074
詳細設定(<u>D</u>)	認証方法を選択する(≦): セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ✓ 構成(C) ✓ 高速再接続を有効にする(E) ✓ 浅ットワーク アクセス保護を強制する(<u>N</u>) □ サーバーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(<u>D</u>) □ ID プライバシーを有効にする(<u>1</u>)
ОК ‡७>セ/レ	OK キャンセル

13. 「Windows のログオン名とパスワードを自動的に使う」にチェックを入れ、[OK]をクリックします。



14. [OK]で「保護された EAP のプロパティ」画面を閉じ、[詳細設定] をクリックします。

##workbook認証方法: 正時書を検証してサーバーの 1D を検証する(x) (%: srv1, srv2, *%.srv3%.com)(Q): (次のサーバーに接触する(%): srv1, srv2, *%.srv3%.com)(Q): (************************************	保護された EAP のプロパティ	KGU-WLAN ワイヤレス ネットワークのプロパティ
□ 広都豊を検証マイワーの10 を検証する(公) □ 次のサーバーに提続する(例: srv1, srv2, *¥.srv3k.com)(Q): □ 次のサーバーに提続する(例: srv1, srv2, *¥.srv3k.com)(Q): □ 点なびサーバーに提携する(例: srv1, srv2, *¥.srv3k.com)(Q): □ 点なびサーバーに提携する(例: srv1, srv2, *¥.srv3k.com)(Q): □ 点attrinute External CA Root □ attrinute External CA Root <tr< th=""><th>接続のための認証方法:</th><th>接続 セキュリティ</th></tr<>	接続のための認証方法:	接続 セキュリティ
次のサーバーに提続する(例: srv1, srv2, *¥.srv3¥.com)(Q): () () ()	□ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(<u>V</u>)	
	□次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(<u>Q</u>):	セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ v
 【報点11:2.1 「任明機關((2): ▲ Add Trust External CA Root Baltimore CyberTrust Root Carry00000 Carry00000 Carry00000 Carry000744 Carry00744.nuc.kwansei.ac.jp Class 3 Public Primary Certification Authority Vielant Assumed ID Post CA X 建築開の通知(1): サーバー名またはルート証明書が指定されなかった場合にユーザーに通知します SEIIT 方法を選択する(5): ビキュリティで保護された(72)-F (EAP-MSCHAP V2) 構成(2) 		暗号化の種類(<u>N</u>): AES イ
▲ AddTrust External CA Root Baltimore CyberTrust Root □ carry00000 □ carry000000 □ carry000000 □ carry000744 □ carry00744.nuc.kwansei.ac.jp □ class 3 Public Primary Certification Authority ↓ </td <td>信頼されたルート証明機関(R):</td> <td></td>	信頼されたルート証明機関(R):	
■ additione Cyber Prote Koot ■ carry00000 □ carry000000 □ carry00744 □ carry00744 □ carry00744 □ carry01744 □ carry01745 □ carry01745 □ carry01747	AddTrust External CA Root	
 □ carry00000.nuc.kwansel.ac.jp □ carry00744 □ carry00744.nuc.kwansel.ac.jp □ Class 3 Public Primary Certification Authority ▼ UP-7-43たはルート証明書が指定されなかった場合にユーザーに通知します ■ 定面方式で保護された(スワード (EAP-MSCHAP v2) ▼ 構成(C) ▼ 通転用技術を考加にする(L) ■ D プライパシーを有効にする(L) ■ OK キャンセル 	carry00000	
□ carry00744 □ carry00744.nuc.kwasei.ac.jp □ Class 3 Public Primary Certification Authority ↓ □ billot 4 merund 1D Boat C4 ↓ □ billot 5 merund 1D Boat C4	carry00000.nuc.kwansei.ac.jp	ネットリークの認証方法の選択(<u>0</u>):
□ Class 3 Public Primary Certification Authority □ Class 3 Public Primary Certification Authority ○ Public Primary Certige Authority ○ Pu	carry00744	Microsoft:保護された EAP (PEAP) ∨ 設定(S)
★ Attribute Assessed ID Pack C* ★ AttRibute Assessed ID Pack C*	Class 3 Public Primary Certification Authority	ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)
接続期の通知(1): サーバー名またはルート証明書が指定されなかった場合にユーザーに通知します ∨ 認証方法を選択する(5): セキュンティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) v 構成(2) ⑦高速再接続を有効にする(E) ⑦月水ワークアウで之保護強調する(X) サーバーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(2) □ ID ブライバシーを有効にする(1) OK キャンセル	DialCart Assured TD Bast CA	
	接続前の通知(工)・	
CK キャンセル CK キャンセル CK キャンセル CK キャンセル	サーバータキたけルート証明書が指定されたかった場合にコーザーに通知します。	
認証方法を選択する(S): セキュリティで保護された/(スワード (EAP-MSCHAP v2) v 構成(C) ③ 高速再接続を有効にする(E) ④ アットワーク アクセス保護を強制する(Q) ③ ロレ プライバシーを有効にする(L) OK キャンセル		
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP V2) 構成(C) ア 高速再接続を有効にする(E) アクワクフクセス保護を推制する(N) ウナーバーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(D) ロ ロ ブライパシーを有効にする(I) OK	認証方法を選択する(<u>ら</u>):	
 ⑦ 高速再接続を有効にする(E) ⑦ 水ットワーク アクセス保護を強制する(N) □ サーバーに暗号化レバインドの TLV がない場合は切断する(Q) □ ID ブライバシーを有効にする(L) OK キャンセル 	セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) V 構成(<u>C</u>)	詳細設定(<u>D</u>)
図 浸っトワーク アクセス保護を推測する(N) □ サーバーに暗号化 バインドの TLV がない場合は切断する(D) □ ID ブライバシーを有効にする(I) OK キャンセル OK キャンセル	✓ 高速再接続を有効にする(E)	
□サーバーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(Q) □ ID ブライバシーを有効にする(L) OK キャンセル	✓ ネットワーク アクセス保護を強制する(N)	
OK キャンセル	□ サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)	
OK キャンセル	□ ID プライバシーを有効にする(<u>I</u>)	
OK \$P2U		
	OK キャンセル	OK FP2

15. [認証モードを指定する]にチェックを入れ、プルダウンメニューより「ユーザーまたはコンピュータの認証」を選択の上、 [OK]をクリックし、画面を閉じます。

詳細設定	×
802.1X の設定 802.11 の設定	
☑ 2証モートを指定する(P):	
ユーザーまたはコンピューターの認証 > 資格情報の保	存(<u>C</u>)
□ すべてのユーザーの資格情報を削除する(<u>D</u>)	
このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)	
● ユーザー ログオンの直前に実行する(E)	
 ユーザー ログオンの直後に実行する(E) 	_
最大待ち時間(秒)(凹): 10	×
▼ シングル サインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(L	.)
 このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮 LAN を使用する(<u>V</u>) 	想
ОК	キャンセル

- 16. 現在開いている全ての設定画面を [OK] あるいは [閉じる] をクリックして閉じます。
- 17. 設定を反映させるために、PCを再起動します。

8. ネットワーク設定を変更する(有線 LAN 編)

<u>"KWANSEI"ドメインユーザー</u>で有線でネットワーク接続できるよう、ローカル管理者でネットワーク接続設定を 行います。以下の手順を実施すると、ローカル管理者ユーザーではネットワークに接続できなくなります。 ※以下の手順は、「3.ネットワークに接続する」を設定した後に、追加で設定する手順になります。 ※この時点では LAN ケーブルを接続しないでください。

1. [ユーザー名] 欄に [.¥PC のローカル管理者ユーザー]を、[パスワード] 欄に [PC のローカル 管理者ユーザーのパスワード] を入力し、右横の矢印をクリックします。



2. 画面の右上下隅どちらかにマウスカーソルを移動し、[チャーム]を表示させたのち[設定]をクリックします。



3. [コントロール パネル]をクリックします。



[コントロール パネル]の画面右上にある[表示方法]が[カテゴリ]となっていることを確認します。
 [大きいアイコン]や[小さいアイコン]となっている場合は[カテゴリ]に変更します。

[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



5. [アダプターの設定の変更]をクリックします。



6. [イーサネット]のアイコンを右クリックし、 [プロパティ]をクリックします。



7. [認証] タブより、[ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する]のチェックを外します。

次に、[設定]をクリックし、[サーバーの証明書を検証する]のチェックを外した後、[構成]をクリックします。

🖁 イーサネットのプロパティ	・ 保護された EAP のプロパティ
ネットワーク 認証 共有	接続のための認証方法:
このイーサネット アダプターに認証済みのネットワーク アクセスを提供する は、このオプションを選択してください。	」 明書で検証してサーバーの10 を検証する(V) ○次のサーバーに接続する(例: srv1, srv2, .*¥.srv3¥.com)(<u>0</u>):
✓ IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)	信頼されなルート証明線間(氏):
ネットワークの認証方法の違択(<u>M</u>): Microsoft: 保護された EAP (PEAP) V 設定	ADD Huse Excential CA Root Baltimore CyberTusk Root Carry00000 carry00000 carry00000.nuc.kwansei.ac.jp
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Carry00744
□承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E)	< 法統前の通知(工): サーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します
追加の設定(<u>D</u>)	認証方法を選択する(<u>S</u>):
	セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) > 構成(「高速再接続を有効にする(厂) 「オットワーク アクセス保護を強制する(N)
	□ サーバーに培与化パインドの TLV がない場合は切断する(<u>D</u>) □ ID プライパシーを有効にする(<u>1</u>)
OK =	- アンセル OK キャン

8. 「Windows のサインイン名とパスワードを自動的に使う」にチェックを入れ、[OK]をクリックします。

EAP MSCHAPv2 のプロパティ ×
接続のための認証方法:
✓ Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある 場合はドメイン)を自動的に使う(A)
OK キャンセル

9. [OK]で「保護された EAP のプロパティ」画面を閉じ、[追加の設定] をクリックします。

保護された EAP のプロパティ ×		🦞 イーサネットのプロパティ 🗙
接続のための認証方法:		ネットワーク 認証 共有
□ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(<u>V</u>)		
□ 次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(<u>0</u>):		このイーサネット アダプターに認証済みのネットワーク アクセスを提供するに は、このオプションを選択してください。
信頼されたルート証明機関(な):		✓ IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)
AddTrust External Capital		ネットワークの認証方法の選択(<u>M</u>):
carry00000		Microsoft: 保護された EAP (PEAP) v 設定(S)
Carry00744 Carry00744.nuc.kwansei.ac.jp Class 3 Public Primary Certification Authority	\rightarrow	□ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>)
		□承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E)
サーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します >		道加の設定(D)
認証方法を選択する(<u>S</u>):		
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) ∨ 構成(<u>C</u>)		
□ 高速再接続を有効にする(F)		
● オットワークアクビス休護を運動する(匹) □ サーバーに暗号化パインドの TLV がない場合は切断する(D)		
□ ID プライバシーを有効にする(<u>1</u>)		
ОК +руди		ОК ‡р>тл

10. [認証モードを指定する]にチェックを入れ、プルダウンメニューより「ユーザーまたはコンピューターの認証」を選択の上、 [OK]をクリックし、画面を閉じます。

詳細設定	x
802.1X の設定	
 ✓ 認証モードを指定する(P) ユーザーまたはコンピューターの認証 ✓ 資格情報の保存(C) すべてのユーザーの資格情報を削除する(L) 	
このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)	
 ● ユーザー ログオンの直前に実行する(E) ● ユーザー ログオンの直後に実行する(E) 最大待ち時間(秒)(M): 10 ● マ シングル サインオン中に追加のダイアログの表示を許可する(D) ■ このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(Y) 	
加えた変更によって、保存された資格情報は削除されます のK キャンセル	

- 11. 現在開いている全ての設定画面を [OK] あるいは [閉じる] をクリックして閉じます。
- 12. 設定を反映させるために、PCを再起動します。
- 13. LAN ケーブルを接続します。

- ワーカル管理者ユーザーにパスワードを設定する
 ※すでにパスワードを設定済みの場合は、この手順は不要です。
- PC のローカル管理者ユーザー(PC セットアップ時に初めに登録したユーザー)でサインインしてください。
 ※「4.コンピュータ名を変更し"KWANSEI" ドメインに参加する」の参加設定後は、[ユーザー名] 欄に
 [.¥PC のローカル管理者ユーザー]を入力します。
- サインイン後、デスクトップ画面でキーボードの[Ctrl]キー、[Alt]キー、[Del]キーの3つを同時に押下し、 表示されたメニューの[パスワードの変更]をクリックします。



[ユーザー名] 欄には今サインインしているユーザーの名前が自動的に表示されます。
 [古いパスワード]欄には何も入力せず、[新しいパスワード]、[パスワードの確認入力] の2か所に
 同じパスワードを入力し、右横の [→] をクリックしてください。

パスワードの変更
ユーザー名
古いパスワード
新しいパスワード
パスワードの確認入力 →

4. 以上で、パスワードの設定は完了です。